

全校朝会（七夕 おすすめの本）

2018. 7. 9

6年生に、「夏と言ったらこれ」というものを教えてもらいました。

先週の金曜日は、七夕でした。去年も七夕の頃に、みなさんが書いてくれていた短冊の願い事がすてきだという話をしましたが、今年もとても素敵だったので、伝えます。

「家族なかよくできますように」「お父さんやお母さんが元気でいられますように」

「学校の先生とたくさん遊べますように」「妹と一生けんかをしませんように」

「友達をたくさんつくれますように」「お兄ちゃんよりも大きくなれますように」

「亡くなったおばあちゃんにもう一度会えますように」「牛乳が飲めますように」

「誕生日が早く来ますように」「世界も日本も戸三小も平和でありますように」

「魔法使いになれますように」「流れ星が見られますように」中には・・・

「月に行くまで死にません」「ネコ語がしゃべれますように」などもありました。去年の素敵な願い事は、かなったのでしょうか。かなった人もきっといると思います。かなえるために頑張っている途中の人もいると思います。今年のお願いごとも、たくさんかなうといいです。

さて、今日は、1学期最後の全校朝会になります。みなさんが「おすすめの本」の紙をたくさん書いてくれたので、紹介をします。

一番多かったのは「だっこして」です。これは、3・4年生の先生が読書朝会の時に読んでくれました。たこのお母さんと子供の話です。他に多かったのは、「だれがうんちしたの」と「ざんねんな生き物じてん」と「動物と話せる少女リリアーネ」です。動物と話せる少女リリアーネは転校を繰り返してきたのですが、それは、彼女に秘密があったから……。動物と話ることができる、笑うと植物が育つスピードをアップさせ花を咲かすことができる、植物と話ができる……。そのリリアーネが友達のイザヤと冒険をする話です。

この他に「西遊記」「銀河鉄道の夜」「オレンジ」「ココロ屋」「ラプンツェル」「空に向かって友達宣言」「ブッダ」「ナポレオン」「暗号クラブ」など、たくさんおすすめの本を紹介してくれました。ありがとうございます。

先生たちも書いてくれました。江蔵先生は「1リットルの涙」百野先生は「ガチョウのペチューニア」新田さんは「だいすきなもの」というネパールの子供たちの写真がたくさん載っている本を紹介してくれました。ちょうど、今日からネパールへの募金活動が始まったので、今日は、この本を読みます。

土曜日は、高田馬場第一児童館で、お化け屋敷がありました。去年とは、また違って、マンションのいろいろな部屋に怖い人がたくさんいて、どこから現れるのかが分からなかったので、「キャ〜ッ」と叫んでしまいました。やっぱりお化け屋敷は、夏によく合います。とても楽しいひと時でした。スタッフの人、ありがとうございました。ぜひ、パスポートにサインをもらってくださいね。